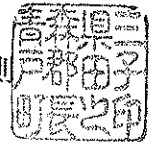




田収発第1068号
平成19年5月2日

国土交通省道路局長 殿

田子町長 松橋 良 則



中期的な計画の策定にあたっての意見提出について（回答）

平成19年4月2日付け、国道企第114号で依頼がありました標記件について、
別紙のとおり提出いたしますのでよろしくお取り計らい下さるようお願いいたします。

今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

【重点化を進める上で特に優先度の高い政策】

1. 当地域では唯一の国道104号が、生活に密着した幹線道路として、また広域拠点を結ぶ大動脈として等々、全ての役割を担っている。しかしながら、当国道は未だに旧規格の区間も多く安全な道路とは言い難い。特に冬期間は安全な通行が確保できない状況である。

よって、抜本的改良やバイパス新設等が難しい現状では、歩道設置、滞雪帯・路肩の付加、譲り合いレーン、右折レーン設置等の補完整備が緊急課題である。このことにより迅速な整備と安全な道路確保が可能になる。

2. 広域的ネットワーク網として極めて重要で、かつ整備効果の高い路線の優先整備。

『国道104号田子町夏坂と国道103号鹿角市大湯間のバイパスルート建設・(仮)世紀越えトンネルの整備⇒国道104号・103号の青森・秋田県境の難所を解消し、大幅な時間短縮を図る』

本路線(世紀越えトンネル含む)整備については、平成6年以来、関係各機関へ要望活動を展開しているところであり、さらに平成11年には青森・秋田両県沿線19市町村により八戸・能代間、北東北横断道路整備促進期成同盟会を発足させ、要望活動を強化している。

本路線は、北東北地域において太平洋と日本海を結ぶ横断軸として、産業経済、広域観光、地域間交流等に極めて重要な役割を担うとともに、多軸連携型国土軸の形成に寄与するものである。

しかしながら、県境に位置する奥羽山系の厳しい山岳地形と積雪寒冷気候に制限され、安全な交通体系が確保できない実情である。物的、人的交流が立ち後れている状況にある中、市町村合併により住民の生活圏、経済圏が従来の枠を越えて拡大することから、これまで以上に広域となるネットワーク整備への対応が喫緊の課題である。

特に、当田子町にとっては地理的条件から鉄道、高速道路へのアクセスには、ほぼ1時間圏と遠い。このような条件から、現状でも医療をはじめ秋田、岩手両県への県外依存度も非常に高い状況にあり、地域住民からは交通環境改善を最優先とする強い要望がなされている。

当ルートを実現することにより大幅な時間短縮と、特に冬期間の安全安心が確保されることとなり、さらには交流活性化による地域間の連携が格段に向上する。

3. バイパス路線等の整備要望がある一方で、舗装や付帯施設が老朽化した路線の改修・修繕も緊急課題である。その対策が必要。

【効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと】

1. 地方道路では新設や局部改良等の整備に限らず、現在ある幹線路線の付加(補完)整備について重点的、かつ効果的な整備検討をすべきである。このことが結果としてコストダウン、早期整備につながる。
2. 積雪地帯では冬期間の交通対策を最優先した整備手法が必要である。歩行者や通行車両にとって何よりも整備効果が実感できる。

【その他、道路政策や道路の整備・管理全般への意見】

1. 実質的に国道のバイパス機能を有する市町村道は、通過交通も多く地元として維持管理にかかる負担が非常に大きい。

これらの路線に対して、国道昇格や路線替え等の措置を検討していただけないのか。

(田子町：町道・天神堂小沼線 → 国道104号のバイパス的機能)

【地域県民局への要望】

H18. 7/25

① 国道104号の高規格化による三八地圏域における主要幹線の整備

- ・ 唯一の主要幹線である国道104号の多車線化、右折レーン、バイパス化等による高規格整備をお願いできないか。

圏域内アクセス時間の大幅短縮を図ることにより、さらなる交流の促進が見込める。

② 世紀越えトンネル構想の実現

- ・ 太平洋地域と日本海地域を結ぶ北東北横断道路の整備構想の具現化。北東北広域圏での中核横断道路として、物流・産業の拡大、人的交流の促進が図られ、地域間交流の大幅な活性化が見込める。

③ 町道・天神堂小沼線の国県道への昇格

- ・ 町道天神堂小沼線は、主要地方道二戸田子線と国道104号を結んでいる1級町道であるが、現在の交通体系は実態として国道104号のバイパスとして機能している。

県境不法投棄産廃の運搬路にもなっており交通量が多く、町では町道としての維持管理、交通安全対策等の面から苦慮している。

県道あるいは国道への昇格をお願いできないものか。

2 国道 104 号・田子町夏坂と国道 103 号・鹿角市大湯間のバイパスルート建設

陳情の要旨

八戸地方拠点都市と米代川流域拠点都市（能代市）を結ぶ、国道 104 号田子町夏坂と国道 103 号鹿角市大湯間のバイパスルート建設について、特段のご支援をお願い申し上げます。

陳情の理由

国道 103 号と 104 号は北東北地域において、太平洋側と日本海側を結ぶ幹線道路であり、八戸市と能代市間の産業経済、広域観光、地域間交流等に重要な役割を担っております。

しかしながら、奥羽山系の厳しい山岳地形や積雪寒冷な気候による道路交通への影響は大きく、重要な交通基盤となっているにもかかわらず、未だその整備は十分とは言えません。特に冬期間における安全な交通体系が確保されていない実情であります。

また、物的、人的交流が立ち後れている状況にある中、市町村合併により住民の生活圈・経済圏が従来の枠を超えて拡大することから、これまで以上に広域的となるネットワーク整備への対応が重要かつ喫緊の課題となっております。

こうした状況の中、急坂、急カーブが連続し、冬季の積雪期には、交通死亡事故も発生する国道 104 号田子町夏坂地区と国道 103 号鹿角市大湯間の一部トンネル化を含むバイパスルートの建設は、安全な交通確保と八戸市を拠点とする県南地方と津軽地方、そして秋田県北との様々な交流促進に大きな役割を果たすことができるものと確信いたしております。

つきましては、事情ご賢察の上、多軸連携型国土形成に大きく寄与するこの事業の採択並びに整備促進に、特段のご配慮とご支援を賜りますようお願い申し上げます。